

2022 アーマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [兵庫県立芦屋国際中等教育学校] 担当教諭名 [林 さなえ] (3年A組 40名)
 相手国・地域 [インド]
 海外学校名 [Suncity School] 担当教諭名 [Kalyani Voleti]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	国際交流	20
	学活	国際交流	20

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	SDG14 と 絆
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	日本とインド、そして世界をつなぐ海から始める環境保全と人と人の関わりを大切にしたいという思いを世界に届けたい、そしてその思いを込めて壁画には海洋と2つの国の絆を示す新幹線を描きました。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 歴史や宗教から来るインドのイメージから抜け出し、“インドの今”を知り、相手校の生徒と交流しようとする気持ちが生まれた。 回数は多くなかったが、クラス全員が参加する形でオンライン交流ができた。 SDGsをグループ活動などで様々な視点で調べ、得た情報を共有し、SDGsの重要性和積極的な関わりの必要性を実感することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校の学校行事やコロナ感染蔓延による学年閉鎖などの影響で、計画や連絡が遅れ、相手校に多大な心労をかけてしまった。 クラス全員がオンライン交流することができたのは良かったが、反面、一人ひとりの交流を深めることは難しかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> アートマイルをきっかけに、外部講師によるインドに関する講演会を開き、インドについての情報を得た。 相手校生徒と交流することでインドの事をもっと知りたい、さらに知らない世界の国々についての知識欲が高まった。 SDGsは日本だけが抱えている課題ではなく、インドを含め世界中が抱えている問題だという意識が育ってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に取り組もうとする生徒に新たな情報を提供していく中で、教師自身も深い学びが得られた。 普段見られない生徒の姿を見ることができ、生徒の成長を実感した。

・児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決のために、自分たちができることを考え実行を始めた。 ・インドで行われている取り組みをみて、自分たちが行っている共通点がたくさんあり、世界規模での取り組みが必要なことがたくさんあるということを知った。 	

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	7月 ～ 9月	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「インドの歴史と文化」(外部講師) ・SDGsについてのグループ学習(夏休み課題) 	<ul style="list-style-type: none"> ・たいへん興味を示し、インドや相手校への関心、また、アートマイル自体への意欲が高まった。 ・グループ発表などで多角的な学びができた。 	総合学活
共有 相手と意見交換	7月 12月	・Zoomによる交流(自己紹介やテーマなどについての話合い)	・オンライン交流ができたことで、相手校の生徒をより身近に感じた。	総合学活
融合 メッセージ作成	9月 ～ 11月	・SDGsをもとにメッセージを伝え合い、それを壁画にどう表現するか協議	・率直に意見交換し、伝えることの難しさを実感するとともに、話し合うことで、それぞれの生徒の成長が見られた。	総合学活
創造 壁画制作	11月 12月	・壁画制作(デザイン～ペイント)	・相手校とすり合わせ、互いのメッセージを織り込んだ壁画をつくらうと協働の意識が高まった。	総合学活
評価 振り返り 自己評価	12月 ～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・本校担当部分を仕上げ、相手校に送付 ・相手校が完成後、本校に送付 ・アンケート実施 	・相手校からの感想を聞き、自己肯定感が高まった。また相手校担当部分への期待感が強まった。アンケートからはこの事業に対する大きな満足感が表れていた。	総合学活

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	講演やオンライン交流後の生徒の感想文や意見の内容に生徒が先入観に縛られず、新たな情報を取り入れていた。
主体的に考え行動する力	5	テーマや壁画に込めるメッセージについての協議場面で自ら情報収集し、そこから、オリジナルな視点で考えた意見を述べていたところ。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	5	グループ活動の中で、それぞれの考えを補い合い、より良いものにしていこうとする姿勢が見られた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	5	相手校の意向と自分たちの意向とをすり合わせていく中で、相手、生徒同士の意見を尊重し、慎重に協議を進めていこうとする姿が見られた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	デザインに想いやメッセージをどのように表現するか最善の方法を模索する中で、これまでの学びからデザインが広がっていったところ。